October, 2012

NO.22

Emergency Watch

発行：神戸大学大学院医学研究科小児科　こども急性疾患学部門

神戸こども初期急病センター

2012 年 9 月受診者数：1970 人

訴え

（カッコ内は、その症状を主な訴えとして来院した患者数）

1．発熱　：1118 人（ 839 人）
2．咳　：762 人（ 248 人）
3．鼻汁　：501 人（ 12 人）
4．嘔吐　：335 人（ 113 人）
5．下痢　：228 人（ 46 人）

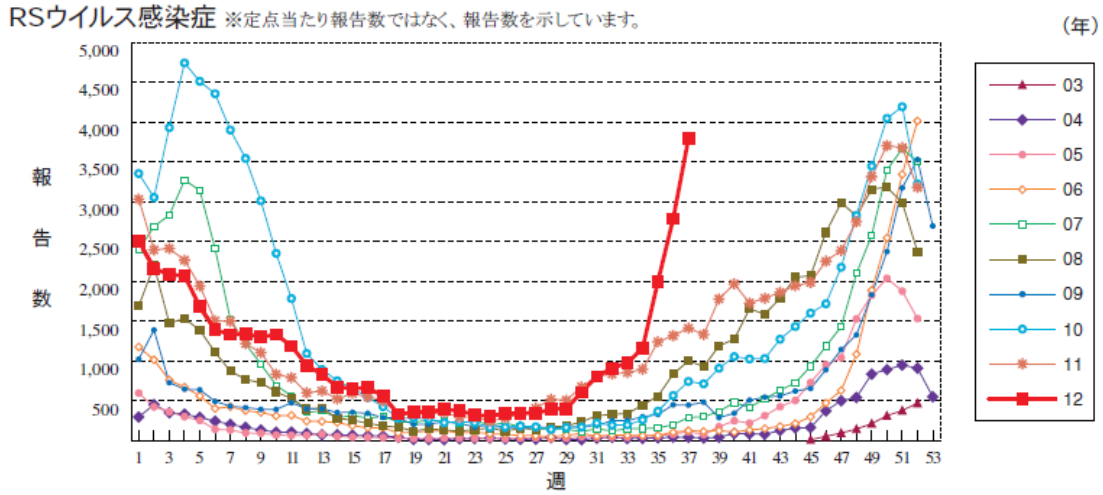
疾患頻度

1．急性上気道炎・咽頭炎：745 人
2．感染性胃腸炎　：271 人
3．気管支喘息・喘息性気管支炎　：181 人
4．気管支炎・肺炎　：117 人
5．グループ　：110 人

今月のワンポイント！

10 月にはいり、朝夕は次第に肌寒くかんじるようになってきました。空もすっかり涼やかで秋の到来を感じます。

神戸こども初期急病センターの 9 月の総受診者数は 1970 人で 8 月とくらべてやや増加しています。受診された理由は発熱が最も多く、その大部分はいわゆるかぜでした。

さて、今月のワンポイントですが、皆様は RS ウイルスをご存知でしょうか？RS ウイルスはかぜのウイルスの一種です。発熱、鼻汁や痰のからんだ咳が症状ですが、一般的なかぜと区別がつきません。しかし、乳幼児、特に 1 歳以下のこどもで気管支炎や肺炎に発展しやすいため注意が必要です。この RS ウイルスの流行が、今年は例年に比べて早く訪れています。通常は、12 月に患者数のピークを迎えますが、今年は 9 月下旬から、例年のピーク数に達する勢いです（下の図：国立感染症研究所 HP より）。

RS ウイルスに対する特別な薬や治療はありません。よって予防が重要です。本格的な冬の流行期に向けて、あらためて、手洗い、うがいを徹底しましょう。